



profile

真知亜さん 東京都出身。好きな作家は原田マハ。趣味は「人間ウォッチング」
律子さん 埼玉県出身。好きな作家は小川糸。趣味は「真知亜ウォッチング」

ヴァイオリンに
洞爺への恩返しをこめて

Spotlight

スポットライト



ヴァイオリン奏者
齋藤 真知亜
律子 さん

洞爺地区の湖畔にヴァイオリニストの夫婦が移住しました。夫の齋藤真知亜さんはNHK交響楽団（N響）の元・次席奏者、妻の律子さんはフリーランス。ヴァイオリニストとしての「原点に帰れた」という洞爺で新たな生活を楽しんでいます。

真知亜さんは東京芸術大学を首席で卒業し、N響に入団。律子さんは桐朋学園大学を卒業しました。演奏活動は多忙を極め、真知亜さんはN響を含めたコンサートに平均で月18〜23回出演し、その合間を縫って大学やオーケストラでの指導、国内外を問わずの演奏旅行に飛び回る日々。律子さんはオーケストラのエキストラやレコーディングをこなしながら妻、母親として家庭を支えました。将来は、そのころ暮らしていた東京を離れようと思いつきながら10年以上が経ちました。

転機が訪れたのは14年、知人に会いに来た洞爺湖町でのこと。夕暮れの湖畔を散歩していた時「ここにしよう」と決めたのは律子さんでした。洞爺湖は雑多な音がはん濫する都内とは真逆の場所。音に人一倍敏感な2人が求めていた静けさがありました。移住を決めたもう一つの大きな理由が人との交流。洞爺では大人から子どもまで気軽に声を掛けてくれ、真知亜さんは「近所のコミュニティに受け入れられたのが大きかったです。人に恵まれました」と笑顔をこぼします。

洞爺では、洞爺湖美術館の演奏会をはじめとして、さまざまな事情で演奏会場に向けない人たちのために演奏する機会に恵まれ、大ホールでは得られなかった「音楽を手渡す大切さ」や「感動をお客様が直接伝えてくれる喜び」を体感できました。「音楽の原点を、洞爺に教えてもらいました」と口をそろえる夫妻。洞爺への「恩返し」をこめ、ヴァイオリンの美しい旋律を響かせています。

今月のワンショット



夕日に照らされる虻田漁港

東奔西走

暖かい日も多くなり、すっかり春らしくなってきた今日このごろ。町内でもあちらこちらで桜が見ごろを迎え、花見など春の行楽シーズン突入といった感じです。みなさんも感染症対策をしっかり行いながら楽しみましょう。(M.O)

3月の卒業式に続き、4月は小学校の入学式を取材。ちょっとだけ不安そうな表情も垣間見えた新入生ですが、先生と保護者に見守られて式が終わった頃には元気いっぱい。満面の笑顔ではしゃいでいる様子がほほえましかったです。(D.Y)